

群馬工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	地理	
科目基礎情報						
科目番号	3C003		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	環境都市工学科		対象学年	3		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	教科書: 高等学校新地理総合 (帝国書院)		地図帳: 新詳高等地図 (帝国書院)			
担当教員	石関 正典					
到達目標						
<p>グローバル化が進化した今日、世界のどの国もその国だけで政治や経済活動を行うことはできない。また、私たちが暮らす日本は、世界にも例がないほど自然豊かな国であり、その恩恵は数えきれないが、一方で地震や火山、台風などの自然災害に見舞われることもある。地理の学習を通じて、地理的な見方や考え方、地図の読図などの技能を養うとともに、防災のための知識や、平和で民主的な国家・社会を切り拓き、持続可能な社会の実現に向け主体的に行動できる総合力を身につけることを目標とする。</p>						
ループリック						
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1	地形の形成要因や気候の特徴を踏まえつつ、人間生活の展開を説明することができる。		地形の形成要因や気候の特徴を説明することができる。		地形の形成要因や気候の特徴を説明できない。	
評価項目2	地図、グラフ、統計資料などを適切に活用し、地理的事象を説明できる。		地図、グラフ、統計資料などを適切に読み取ることができる。		地図、グラフ、統計資料を適切に読み取ることができない。	
評価項目3	防災・減災や環境問題など地球的課題への対応には地理的な見方や考え方が必要であることを理解している。		地形・気候と自然災害の関連や、環境問題など地球的課題の現状を理解している。		地形・気候と自然災害の関連や、環境問題など地球的課題の現状を理解できていない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	<input type="checkbox"/> 世界の諸地域の特色を、地形、気候等の地理的環境と人々の生活様式との関わりの中で理解する。 <input type="checkbox"/> 地図の活用方法を学び、さまざまな地図や資料を活用して、身近な地域やグローバル化する現代世界の特色を考察する。 <input type="checkbox"/> 身近な地域の自然環境や産業、歴史などに関心を持ち、郷土に愛着や誇りを持って地域社会に貢献できる人材になる。 <input type="checkbox"/> 近年多発する地震・火山の噴火などの自然災害や、ゲリラ豪雨・雪害などの気象災害について認識を深め、防災や減災のために私たちができることを考える。					
授業の進め方・方法	<input type="checkbox"/> 授業は指定の教科書・地図帳を用い、基本的に講義形式で行う。学生には積極的な発言や質問を期待する。 <input type="checkbox"/> 群馬県など身近な地域の事例も積極的に取り上げる。 <input type="checkbox"/> 白地図、地形図等のワークシートを使用し学習内容の定着を図るとともに、地図や資料を読み取る力、活用する力を養う。 <input type="checkbox"/> ノートやレポートの作成を通じて、自分で学習内容をまとめる力や文章表現力を身に付ける。 <input type="checkbox"/> 最終的な評価は試験と提出物（ノート、ワークシート、レポート）の合算で行う。					
注意点	<input type="checkbox"/> 白地図や地形図に着色したり、雨温図などを作図する場合があるので、色鉛筆、マーカー等を準備してください。 <input type="checkbox"/> 中間試験前、期末試験前にノート提出を行うので、地理のノートを用意してください（学科・整理番号・名前を記載。ルーズリーフを使用する人は紛失等を防ぐためファイルに綴じて提出してください）。 <input type="checkbox"/> ノート提出や課題提出を怠らないようにすること。					
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
	週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1週	世界の地形と人々の生活 (1) 大地形と人々の生活		内的営力・外的営力やプレートテクトニクスなど大地形形成のメカニズムを説明できる。		
	2週	世界の地形と人々の生活 (2) 変動帯・安定地域と人々の生活		造山帯・安定地域の特徴や鉱産資源など人々の生活との関わりを説明できる。		
	3週	河川がつくる地形と人々の生活 (1) 扇状地の地形と生活		扇状地の地形的特色や土地利用を説明できる。 地形図の読図や活用ができる。		
	4週	河川がつくる地形と人々の生活 (2) 氾濫原の地形と生活		氾濫原の地形的特色や土地利用を説明できる。 地形図の読図や活用ができる。		
	5週	河川がつくる地形と人々の生活 (3) 台地の地形と生活		台地、河岸段丘の地形的特色や土地利用を説明できる。 地形図の読図や活用ができる。		
	6週	海岸の地形と人々の生活 (1) 沈水海岸		リアス海岸、三角江などの地形的特色や生活との関わりを説明できる。 地形図の読図や活用ができる。		
	7週	海岸の地形と人々の生活 (2) 離水海岸		海岸平野、海岸段丘などの地形的特色や生活との関わりを説明できる。 地形図の読図や活用ができる。		
	8週	中間試験				
	2ndQ	9週	世界の気候と人々の生活 (1) 気候要素と大気循環		世界の気温分布や降水の条件、大気循環の仕組みと風の種類を説明できる。	
		10週	世界の気候と人々の生活 (2) ケッペンの気候区分		ケッペンの気候区分の指標や記号を理解し活用できる。	
		11週	防災と地域づくり (1) 日本の地形		日本列島の地形的特色やプレートと地形の関係を説明できる。	

		12週	防災と地域づくり(2) 日本の気候	日本の気候の特色を気温や降水量の変化に着目して説明できる。 気象災害の種類とその対策を理解する。
		13週	防災と地域づくり(3) 地震・津波	地震の種類、地震に伴って発生する主な災害を説明できる。 防災・減災のための取り組みや私たちにできることを説明できる。
		14週	防災と地域づくり(4) 火山・噴火	火山の形成要因や噴火に伴うさまざまな災害を説明できる。 火山がつくる自然環境を活かした取り組みを説明できる。
		15週	定期試験	
		16週	学習のまとめ	これまでの学習内容を整理し、地球的課題に対応するためには地理的な見方や考え方が必要なことを理解する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	3
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0